

第5回 第3期瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会 議事要旨

- 1 日時 平成27年6月25日(木)午後2時から4時まで
- 2 場所 区役所5階大会議室
- 3 出席者 出席24名 欠席1名
- 4 議事要旨

内容	<p>1. 第4回地域福祉保健計画懇談会の振り返り (資料1)</p> <p>2. 27年度の地域福祉保健計画策定スケジュールについて (資料2、3)</p> <p>3. 第3期全域計画中間案について (資料4、5)</p> <p><主な意見></p> <p>① 策定懇談会での意見と団体ヒアリングからの意見が並べてあるが、全域計画の一部として中身を具体的にイメージしてもらうための例示であり、あくまでも計画の一部と理解してよいか。→事務局：よい。 どういう意味で意見が収録されているのか、計画書に前提を入れていくとよい。</p> <p>② P 4 「瀬谷区の現状」について、現状の数字だけだと前向きではないので、一般の方が見た時に関心を持つような内容にする工夫が必要。 ◇第3期に向けて展望が開けるような情報を記載する。 ◇精神保健福祉手帳の交付の割合が特に高くなっているため、瀬谷区のイメージを出すには書く必要があるのではないか。</p> <p>⑤ P 5 「全域計画と地区別計画の関係」の「地区別計画を中心とした」という表現について、地区別計画と全域計画があってこの計画が成り立つので並列だと思う。</p> <p>⑦ P 9、22 団体ヒアリングの子育て支援団体の意見が並んでいる中、「主任児童委員」という団体だけがピックアップされているように感じる。子育ては特定ではなく地域の様々な団体に関わることが大切であり、「多くの」「全体で」「みんなで」などと書いてもらいたい。</p> <p>③ P 20 「必要な情報の提供」の“必要”というのは人それぞれ違って難しい。情報を提供するのはよいが、認知症、高次脳機能障害、聴覚視覚障害のある方等、受ける側に配慮をした表現をする必要がある。</p> <p>④ P 21 防災の取組として要援護者の名簿作りがあるが、その情報だけでは障害の種別も分からない。個人情報の保護の問題もあるが、防災の取組の中で少しイメージを示していくと良い。</p> <p>⑥ P 25 「健康で長寿な地域づくり」に「からだまるごと健康フェア」などの開催により健康について考えてもらっているという記載も入れてもらいたい。</p> <p>⑧ 全体として若い世代に関わるという記述がたくさんある。色々なところで、現役世代、若い世代が強調されている。懇談会の議論そのものがみんなでやっっていこうという方向性になっている現れだろう。</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑨ P 10	<p>「健康で長寿な地域づくり」について、こころの健康面の取組が弱いと感じる。市は心の健康をどう保つのか。精神疾患は偏見があり、なかなか表に出ないが地域でかなりの人数の人がいる。そのような人への共助・公助が必要なので記載してもらいたい。</p> <p>◇「地域の交流を持つことが、心身の健康に効果があるといわれています」という部分の表現を工夫するとよい。</p>
⑩	<p>「策定懇談会の意見」「団体ヒアリングの意見」について、計画の中の記述と策定懇談会との関係性が何処にも謳われていない。何故ヒアリングをしたのかとどこかに説明が必要。</p>
⑫ P 17	<p>障害理解というプロセスが日常生活に当たり前にあるべきだということも入れるとわかりやすい。</p>
⑬	<p>「暮らしや地域に関する調査」等のデータについて、パーセンテージだけでなく、母数や年齢構成など調査概要を記載するといい。</p>
⑭ P 6	<p>基本目標「健康で長寿な地域づくり」の「健康で長寿な地域」という表現についてひと工夫できないか。</p>
⑮	<p>健康は心身共に健康にということ。その心身の心をどこかで表現ができると誤解が少なくなると思う。</p>
⑯ P 24 等	<p>「現状」「5年後のあるべき姿」の書き方が具体的な成果に関わるが、わかりにくい表現もあるように感じる。「実現のための取組」の中に、どう取り組んでいけばよいかというに悩みに対するヒントが出てくるとよいと思う。</p>
⑰	<p>10年前に比べると、地域として前進していると感じる。いろいろな属性を持った方々がいて、これだけの方々が同じ地域に住んでいるということ意識するようになったのは大きな進歩があったと思う。その上でさらに理想像を掲げるのは難しいのだろうと思いつつ見直していた。</p>
⑱ P 24	<p>「5年後のあるべき姿」の中の「日常の交流」という言葉がよい。理解するためには、「認知症とは」「障害者とは」等の座学を学ぶことと並行して、見慣れた存在にお互いになれるとだんだん「友達」「知り合い」になっていき、「この人はいったい何の障害だったんだろう」と思う位のお付き合いになっていくことがある。日常の交流として、地域の人が誰でも集える場所があると、障害のある方も支援を受ける立場だけではない能力を持っていることが分かるなど、片方が片方を支援するのではなく、双方向であるとわかる。日頃見慣れた馴染のある関係ができるような工夫を私たちがしていければよいと思う。</p>
⑲ P 24	<p>基本目標 I 「実現のための主な取組」に「新たな福祉保健地域活動の交流連携拠点を整備します」とあるが、協働の計画なので「整備します」と表現すると区役所が整備するように聞こえてしまう。</p>
⑳	<p>勝手にこちらで支援者を決めるのはよくないこと。障害がある方でも支援してくれる側に回るかもしれない。できるだけ支援する人と支援される人を決めないようにしたい。福祉計画だから支援することを前提に話をしているのだろうが、どこかでその辺のところを謳ってくれるととてもよい福祉計画になると思う。</p>

- ②① P 25 基本目標Ⅱ「健康で長寿な地域づくり」の「長寿な」のイメージとして、地域福祉計画が高齢者のものかと捉えてしまいがち。対象を乳幼児から高齢者までとみると、ことさら長寿を強調しない方がよいのかもしれない。
- ◇「長寿」は割と重要キーワードとなっている。計画書には「若い世代」「現役世代」「中学生」などの言葉がかなり入っていて、全体としてはかなりそちらに力が入っていると思う。そのような若い時代から「長寿」を考えている方がよいだろう。むしろ、自尊心を持って生きられると言う意味で「長寿」という言葉が使われるのなら良いだろう。
- ②② P 25 基本目標Ⅱ「健康で長寿な地域づくり」の「実現のための取り組み」に「年齢に応じた健康の大切さ」を啓発していきたい。
- ②③資料 4 全体の流れがとてもわかりやすく、実現のための取組も素晴らしい。さらに行動計画の具体的な事業が進められて、実現していくのだということが見えるものが計画にもあるとよい。→事務局：資料4の図は計画冊子に入れ込みたい。
- ②④ 基本目標として書く抽象度のばらつきはあるが、5つの大切な視点がうまく整理されていて素晴らしいと思った。実際に計画を進めていく上で視点が大事である。

4. 第3期瀬谷区地域福祉保健計画のサブタイトルについて (資料6)

<主な意見>

- ① 「～みんなで作るみんなのしあわせ～」は消えない事を確認したい。概要版で、「地区別計画は、皆様が暮らしやすいまちづくりの計画です。」と強調されているので、サブタイトルは「～暮らしやすいまちづくりの計画～」がしっくりする。
- ② 広報6月号瀬谷区版で「地区別計画は」～暮らしやすいまちづくりの計画～という表現がある。「地区別計画は」でなく「地域福祉計画は」が正しいため、「みんなで作るみんなのしあわせ計画」の方がまだよい。
- ◇「地区別計画は」と書いたのは逆によいと思う。地区別計画と全域計画は連動しているので、逆に地区と全域が同じ土俵にあるのだと分かってよいのではないか。
- ◇地区別が一番大事なので、～暮らしやすいまちづくりの計画～でよい。
- ◇「第3期瀬谷区地域福祉保健計画」と「計画」が重なるので、～暮らしやすいまちづくり～でよいかもしれない。
- ③ 第3期の特徴は健康長寿を取り上げたことなので、「せやまる健康長寿なまちづくりプラン」でどうか。

6. その他

第3期全域計画中間案の区民意見募集についておしらせ

以 上

次回

平成27年10月1日(木) 14時～16時 せやまるふれあい館 1階多目的室ホール1